

## 05 「パラリンピックについて」 (小学生作文)

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、ハルが小学生の作文を朗読します。

10 「あと一年でパラリンピックです。」  
と、テレビから聞こえてきました。

15 来年は東京オリンピックがあります。また、同時にパラリンピックも行われます。しかし、僕は、あまり気にしていませんでした。そんな気持ちでテレビを見てみると、走り幅とびの人が助走をして大きく飛ぶ姿が映っていました。選手が少し変わった形をした義足をつけていました。僕は、よくあんな形の義足をつけて飛ぶことができるなと思います、びっくりしました。今はいろんな形の義足ができていたので、たくさんのができるようになったけれど、昔はなかったそうです。義足でただ歩くだけでも大変だし、長い時間はくと足が痛くなってくることもあるそうです。

20 パラリンピックの種目で、車いすレース、車いすテニス、車いすバスケットなどがあるそうです。テレビの番組でバスケット得意な人が、車いすバスケットを体験するところがありました。しかし、全然できませんでした。車いすを動かしながら、ドリブルやシュートをすることがとても難しいようです。今ま

25 では、オリンピックに出場する人はかっこいい！と思っ  
ていましたが、オリンピックに出る人はもつと練習して、難  
いことに取り組んですごいと思いました。

30 ある日、お店に行った時、僕は、車いすの人を見かけまし  
た。僕たちだったら全然気にならない、通路に置いてある箱  
や、少し通路に出ているカゴなどを、とても気にしながら通  
っていました。でも、その時、僕は何もできませんでした。  
ただ、そーっと見ていることだけしかできなかったのです。

35 パラリンピックに出場して、成績を残す人たちもいますが、  
まだまだ買い物や道路などで困る人がたくさんいると思いま  
す。そんな人たちも、僕たちと同じように、気にしないで何  
でもできるような世界になればいいなと思いました。

40 僕もただ見ているだけだったけれど、いつか行動ができる  
ようになりたいと思います。